平成16年度 学士論文

プログラム分散化のための アスペクト指向言語

東京工業大学 理学部 情報科学科 学籍番号 xx-xxxx-x 西澤 舞我

指導教員 千葉 滋 助教授

平成17年2月7日

概要

ここに Abstract を書く (A4 2枚まで)

謝辞

本稿は以下の方々なくして、存在しえなかったでしょう。Addistant の 開発、Addistant 2 の提案および本稿の編集になにかと心を砕いていただいた千葉滋講師、東京大学の光来健一氏、筑波大学の立堀道昭氏、横田大輔氏そして研究室のみなさん。心より感謝しています。

(具体的に何をしてもらったか書く)

目 次

第1章	はじめに	1
2.1	関連研究 PhET	2 2 2
第3章	Addistant 2 - 記述力強化版	3
第4章	実装	4
第5章	実験	5
付録A	プログラム例	7

第1章 はじめに

書くこと

- 教育におけるシミュレーションの位置付け
- 物理教育でのシミュレーションの実例
- 現在のシミュレーションでは自分の目的に適していないことの説明
- 他の章の構成

第2章 関連研究

2.1 PhET

PhET[3] について

2.2 Scratch

Scratch[2] について [1]

第3章 Addistant 2 - 記述力強化版

第4章 実装

図 4.1 は...

第5章 実験

表 5.1 は...

表 5.1: Addistant 2 の実行時間 (秒)

	時間
X Window System	15.0
Addistant 1	3.0
Addistant 2	2.0

参考文献

- [1] López, V. and Hernández, M. I.: Scratch as a computational modelling tool for teaching physics, *Physics Education*, Vol. 50, pp. 310 316 (2015).
- [2] Massachusetts Institute of Technology: Scratch Imagine, Program, Share, https://scratch.mit.edu.
- [3] University of Colorado: PhET: Free online physics, chemistry, biology, earth science and math simulations, https://phet.colorado.edu.

付 録 A プログラム例